





昭和二十九年年度

# 学校保健表彰決定

学校保健委員会一・学校医二二・学校歯科医  
九・学校薬剤師一・養護教諭五・合計四八

本年度学校保健関係表彰は各都道府県の推せん候補を、文部省保健分科審議会において審査を行い、その結果を文部大臣より本会に協議の上次のように決定した。

学校保健委員会 十一校  
学校医 二十二名  
学校歯科医 九名  
学校薬剤師 一名  
養護教諭 五名  
計 三十七名  
以上の表彰者には、十月九日出雲市で開催される第四回全国学校保健大会で、文部大臣、日本学校保健会連名の表彰状がおくられた。  
全表彰者の氏名は次のとおりである。

▼学校保健委員会  
秋田県小坂町立元山小学校 (校長 高橋武利氏)  
埼玉県児玉郡若景村立阿久原小学校 (校長 曾根種吉氏)  
新潟県中蒲原郡大蒲原村立 (校長 大蒲原小学校)  
山梨県北巨摩郡蓮崎町 (校長 葛巻順一氏)  
島根県頓原町立頓原小学校 (校長 島居禮三氏)

▼学校医  
北海道名寄町立名寄小学校遠藤季雄 (校長 神田佐武郎)  
宮城県仙台市立五橋中学校 (校長 小塚喜四郎)  
福島県立会津女子高等学校 (他一) (校長 新妻三郎)  
茨城県真壁郡大和村東小学校 (校長 延島市郎)  
群馬県立吾妻高等学校 (校長 森幾三)  
千歳県立千歳第一高等学校 (校長 丸山恒康)  
市川 富平

▼学校歯科医  
山形県立上山高等学校 永田龜之助

広島県福山市霞小学校 (校長 景山真信氏)  
山口県大島郡久賀町立久賀小学校 (校長 豊原照氏)  
愛媛県大洲市立大洲小学校 (校長 青山宗一氏)  
大分県安岐町立安岐小学校 (校長 矢野勝馬氏)  
宮崎県都城市立東小学校 (校長 隈元昌氏)  
鹿児島県串木野市立串木野小学校 (校長 中原慎男氏)  
計 十一校


東京都中央区立京華小学校広瀬勇 (校長 安田裕)  
神奈川県横浜市立金沢小学校青木巽 (校長 小山良一)  
岐阜県土岐郡土岐津小学校遠山道雄 (校長 原嘉市)  
愛知県豊浜町立豊丘小学校田中義邦 (校長 田中静夫)  
滋賀県長浜市立北郷里小学校 (校長 山下挺平)  
新宅 幸造  
京都市上京中学校 (校長 小川泰人)  
大阪府立大宮小学校 (校長 豊田順爾)  
兵庫県多紀郡篠山小学校渡辺立 (校長 小西貞)  
奈良県宇智郡牧野村立牧野小学校 (校長 伊藤謙吉)  
鳥取市立湖東中学校 (校長 片貝守)  
徳島県那賀郡桑野町桑野小学校 (校長 塚野 琢郎)  
前防 義則  
香川県高松市四番丁小学校永井幹 (校長 堀木利博)  
福岡県柳川市伝習館高等学校 (校長 田中敏夫)  
法政武雄市朝日小学校伊東喜代太 (校長 白岩庄市)  
長崎県長崎市戸町小学校 (校長 板東 勁吉)  
石川県金沢市立高岡町中学校島野綾 (校長 岩瀬 胖)  
大阪府立大手前高等学校長沢ひさ元 (校長 橋口袈裟雄)  
岡山県岡山市立鹿田小学校 (校長 井手永広太)  
計 二十二名

▼学校薬剤師  
東京都豊島区立時習小学校可兒重一 (校長 岩間 勇)  
計 一名

▼養護教諭  
栃木県立足利高等学校 遠藤 フミ (校長 茂木 政雄)  
富山県富山市立堀川小学校 老田モトエ (校長 立島 謙)  
石川県金沢市立高岡町中学校島野綾 (校長 厚見 胤雄)  
大阪府立大手前高等学校長沢ひさ元 (校長 佐藤 一男)  
岡山県岡山市立鹿田小学校 稲田佐與野 (校長 尾原 静)  
計 五名  
合計 三十七名 四十八

滋賀県長浜市立北郷里小学校 (校長 山下挺平)  
新宅 幸造  
京都市上京中学校 (校長 小川泰人)  
大阪府立大宮小学校 (校長 豊田順爾)  
兵庫県多紀郡篠山小学校渡辺立 (校長 小西貞)  
奈良県宇智郡牧野村立牧野小学校 (校長 伊藤謙吉)  
鳥取市立湖東中学校 (校長 片貝守)  
徳島県那賀郡桑野町桑野小学校 (校長 塚野 琢郎)  
前防 義則  
香川県高松市四番丁小学校永井幹 (校長 堀木利博)  
福岡県柳川市伝習館高等学校 (校長 田中敏夫)  
法政武雄市朝日小学校伊東喜代太 (校長 白岩庄市)  
長崎県長崎市戸町小学校 (校長 板東 勁吉)  
石川県金沢市立高岡町中学校島野綾 (校長 岩瀬 胖)  
大阪府立大手前高等学校長沢ひさ元 (校長 橋口袈裟雄)  
岡山県岡山市立鹿田小学校 (校長 井手永広太)  
計 二十二名

東京都渋谷区立臨川小学校 原一学 (校長 永田 良雄)  
神奈川県中郡南秦野小学校半田忠敬 (校長 中川 世務)  
福井県敦賀北小学校 手鹿 政 (校長 宮川 信之)  
静岡県伊東市立西小学校三津間常作 (校長 岸本 七郎)  
愛知県名古屋市立菊里高等学校 (校長 石井佐太郎)  
長屋 弘  
京都市立春日小学校 (校長 丸橋 勝利)  
兵庫県神戸市立長楽小学校須貝琢郎 (校長 島 善一郎)  
高知県高知市立潮江小学校横矢直包 (校長 辻 彦熊)  
計 九名



学童の  
化膿症、肺炎、悪性感胃に  
使って便利のんで即効!  
**ニチパン**  
乳液 錠剤  
萬有製薬株式会社

つきのよい...  
ニチパンの  
絆創膏  
ニチパン





# 冬季における保健計画

東京都中央区立京華小学校教諭

## 及川 林次

保健計画はその地域の特殊性と社会、学校行事との関連性を考え、児童に最も望ましい身体的、精神的、情緒的な健康生活が営まれるよう留意するとともに、季節に関する考慮を忘れざることはできない。即ち、冬季の保健計画は冬の気候の特質を知悉し、その自然的環境に適応する科学的な健康生活が営まれるよう配慮することが要件である。

一、冬季のもつ保健上の特異点  
冬季は四季の中でも健康的に見て特に気をつけなければならぬ季節

であり、その特異点としては次のこととがあげられる。

- 1、冬季は気温が低く、温度も少く、かつ風の日が多いので、それに關聯しての病気がきわめて多い。
- 2、耐寒のため衣服の数が多くなる。「庄司光氏」によれば冬の衣服の重さは、夏の七・八倍になるということがある。
- 3、防風防寒の施設が設けられる
- 4、戸外生活が制限され、室内生活が多くなる。

健康生活表の一例

月日	12 25	12 26	計
ことがら			
1 おきたじこく	時分	時分	
2 ねたじこく	時分	〃	
3 あさごはんのじこく	〃	〃	
4 ひるごはんのじこく	〃	〃	
5 ばんごはんのじこく	〃	〃	
6 おやつのじこく	〃	〃	
7 べんきょうのじかん	〃	〃	
1~7 まではじこくや、じかんをかきこむこと			
8 どんなおてつだいしたか			
9 どんなあそびをしたか			
10 つかつたおこずかい	円	円	円
8~9 はやつたもののなまえをかきこむこと			
11 うがいましたか			
12 手をあらいましたか			
13 汗のあとしまつをしたか			
14 交通のきまりまもつたか			
15 あさラジオ体操したか			
11~15 までは○、×をつけ、さいごの計のところには○の計、×の計をかきこむこと。			

- 5、新鮮な野菜が不足する。
- 二、冬季における健康指導  
前述のことから考え、冬季の健康指導の目標は正しい耐寒生活の指導と冬季におきる疾病予防の指導とが考えられる。
- 1、寒気に耐える積極的な指導
- ① 学習計画  
授業時、殊に体育授業時並に給食献立等について配慮すること。
- ② 戸外運動の奨励をする。  
室内生活が多くなるので、できるだけ戸外運動を奨励すること。
- ③ 寒さに適応する生活設計をたてさせ、それを実践させること。
- 2、疾病予防に対する指導  
冬の病気には感冒、気管支炎、肺炎、凍傷、あかぎれ、流行性

- 感冒、ジフテリア、猩紅熱等がある。従つてその予防に努力するよう指導する。
- ① 感冒、その他の予防  
感冒の予防については、イ、患者に接近しないようにする。  
ロ、せきやくしゃみに注意する  
ハ、常に清潔な下着をつける。  
ニ、湯ざめをしないようにする  
ホ、ウガイを励行する。  
ヘ、必要に応じてマスクを使用する。
- ト、室内温度の調節に注意する  
② 室内の換気につとめる習慣をつける。
- ③ 栄養価の高いものを摂取させ体力の増強をはかる。
- ④ 凍傷発生のおそれある児童には、栄養をとらせ皮膚を清潔に保たせ摩擦を奨励し血行を

ツ反応

陽転者要注意者の  
発病予防に!

☆服み易い  
☆胃を悪くしない  
☆有効血中濃度が  
長くつづく

**コッパズ**  
カルシウム

田辺製薬

元気に育て...

1日1錠、栄養たっぷり

ミネラル配合総合ビタミン剤

**ミスロール**

30錠 100錠 三共株式会社

三共株式会社



- ⑤ 安全教育に留意する。  
寒気、厚着等より起る危害防止、交通規則遵守による交通安全。
- ③ 冬休みと健康のしつけ  
冬休みは僅々二週間程度でありかつ歳末年始を控えたあわただしい時期でもあるので、兎角軽るく扱われ易いが、次のような健康的なしつけをねらい、その指導に努力することを忘れてはならない。
- ① 生活時間割をつくらせる。  
起床、就床時刻、食事、学習遊び奉仕等について正しいきまりをしつける。
- ② ヲガイを励行する習慣をつける。
- ③ 発汗後の処置に注意させる  
手洗の励行。
- ④ 交通規則を守らせる。
- ⑤ 指導上の留意点  
① 常に健康観察を行い、個別指導に力を注ぐ。  
② 虚弱児童の指導に留意する  
個別カード等を作製して指導にあたる
- ③ 家庭と緊密な連絡をとる  
家庭訪問、家庭通信、連絡簿  
学校保健委員会、P、T、A  
保健部、その他
- ④ 三、その地の保健活動  
① 発育測定  
所謂、計りばなしでなく児童個々につきよく前月と比較考察し、不審児については視察を怠らず、健康診断等を実施し、結核の早期発見につとめる。

冬季の保健計画一覽(参考)

冬			季節	② 大掃除
きまり 正しく 楽しい 生活	身体 強い	寒さに 負けない	月	期末の大掃除は歳末を控えての大掃除であるから児童の机中は勿論、校舎外にわたり完全清掃を実施する。
月 二	月 一	月 十	月	③ 机、腰掛の調整 児童の成長発育に応じ、机、腰掛の配置静換を学期始めまでに必ず実施する。
健康相談 防火週間 球技大会 発育測定 新入生身体検査 凍傷処置 長欠児調査	机、腰掛調整 発育測定 学校保健委員会 感冒調査 凍傷予防(処置)	大掃除 凍傷予防 感冒調査 トラホーム治療 避難訓練	保健行事	④ 暖房 気温が一〇度以下の場合には
運動と健康(戸外運動服装、運動と完全) 病気の予防(結核、免疫、チフテリア、猩紅熱) 正しい姿勢(運動と姿勢、姿勢と脊柱、姿勢と健康、寒さと姿勢、不良姿勢と矯正法)	病気の予防(凍傷、感冒、肺炎、目、鼻) きれいな環境(下着の清潔、暖房換気、採光) 楽しい精神(協同、明朗、正直、勤労)	病気の予防(病気の原因、初期徴候、寄生虫) 健康生活のしつけ(第三学期の心身の準備、きまりある健康生活)	健康指導	暖房を実施する。暖房の標準温度はC一八—二〇度位が適当である。 以上冬季における保健計画の概要について述べてきたわけであるが、これを要するに寒さを克服する指導を行うと共に、きまりある生活をしつけ、消極的には此の期の疾病の予防について考慮することを以て本計画の主眼としているわけである。

肺炎、気管支炎、悪性感冒等  
秋から冬に多い児童の疾病に  
使つて便利即効薬バイシリン

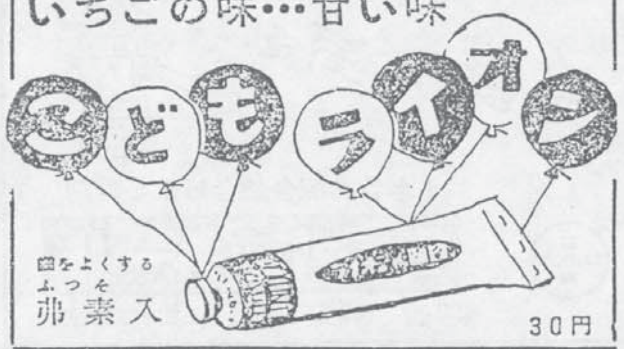
戦後ベニシリン、ストレプトマイシン等所謂抗生物質が相次いで発見され人類の疾病に大きい福音を齎しその結果は寿命を十年以上も長くしてしまいました。秋から冬にかけてかゝりやすい児童の肺炎、気管支炎悪性感冒等児童の疾病はかなりの数に達し、思わぬ大病になつてからあわてる始末です。

「治療にまさる予防」とは古から用いられる言葉ですが、実際にはなかなか実行されず、後の祭りの結果に終るのが通例であります。いろいろな従来の治療法乃至予防法は、いづれも注射による場合が多く、「注射は痛い」の概念が学童にも保護者にも、かなり強く印象づけられていたことによるものであります。

従つてベニシリンが発見され卓越した臨床効果が次から次と山積されて製剤面においても種々改良され幾多の変遷をたどりましたが、学童に注射をせずに、喜んで飲むことができ、しかも従来のベニシリンよりずつと長く体内に作用するベニシリン、所謂持続性のベニシリン、「バイシリン」が創り出された(万有製薬KK発売)ので幼児や学童の予防と治療にどしどし使われるようになりました。今のうちに冬を越す体力を作るには、まず日々健康であることと、ちよつとした感冒も、気管支炎も手早くバイシリンで治し、いつも元気にすくすくと学童を育てるよう指導されるのが一番早い近道ではないかと思ひます。

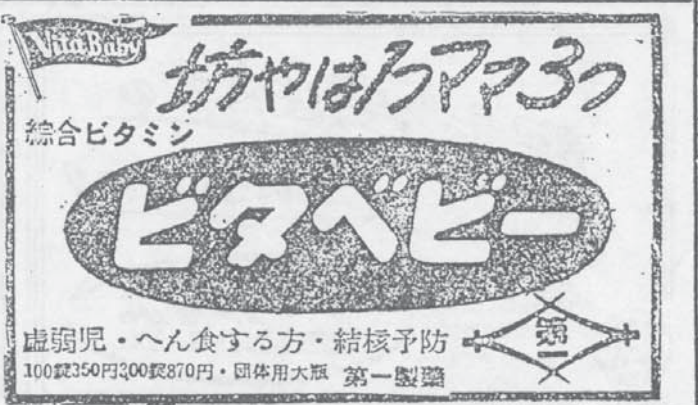
P. R. 記事

いちごの味...甘い味



入素弗  
30円

坊やはるアマ3つ  
総合ビタミン



ビタベビー

虚弱児・へん食する方・結核予防  
100錠350円・300錠870円・団体用大瓶 第一製薬



# 冬休みの保健活動

東京都高輪台小学校  
千葉 たつ

小供たちにとつて一年中で一番たのしいお正月であり、冬休みであるこの期間をいかに教育的に健康に過すかについて本校での事例を参考までに述べてみたい。

十二月の定例学校保健委員会において討議し父兄側の委員、児童委員教師の委員が一つになつて地域社会の人々の協力のもとにいろいろ話し合いをした結果、決められた事柄の解決を保健委員が中心になつて、児童達や、母親に呼びかけ、また学校新聞によつてそれぞれの家庭に通知しその実践に努力している。

一、冬休みの生活日課表の作製（日課表は省略）  
休み中の毎日の生活設計を計画しそれによつて生活実践をするよう日課表を作製させる。生活設計のプログラムを忠実に実行することによつて、早寝、早起、歯磨、食事、運動、休養、睡眠、入浴等の良習慣が培われるように、子供自身の自覚的行動をうながす。

- 二、遊びについて
- 1、天気の良い日は外で元気に遊ぶ。
  - 2、遊びに無中になつてけがをしないようにする。
  - 3、危険な遊びはやめよう。
  - 4、学校の運動場で遊ぶときは、日直の先生のさしずから従つてきまりよく遊ぶ。
- 三、感冒の予防について

- 1、急に体を冷やさないようにしよう、暖い部屋から急に戸外に出る時は上衣や外套で調節する
- 2、運動のあとの汗の始末を怠らないようにしよう。
- 3、入浴のあとは湿気をよくぬぐい、特に湯ざめをしないようにしよう。
- 4、つとめて薄着を励行しよう。
- 5、いつもきれいな空気の中で生活しよう。

- イ、外で元気に遊ぶ
- ロ、室内の換気をよくし、日光を通す。
- ハ、群集の中にはできるだけ行かない。
- ヘ、外から帰つたらうがいをしてう。
- ニ、うたたねをやめよう。
- ホ、よくねむり、栄養に注意しよう。

- ウ、疲労はかぜの原因になりまた栄養がわるくなると、体の抵抗力がなくなつて発病の条件となる
- エ、寒い時の栄養については特に気をつけよう。
- オ、もしかぜにかつたら早くお医者さんの診察をうけよう。
- カ、マスクの正しいかけかたについて

- キ、かぜにかかつて、クシャミや、せき、鼻水の出るとき、人にめいわくをかけないようにマスクをする
- ク、また寒風の強い夜に外に出るとき

にかける。その他のときはかけない。

五、疾病異常者の治療  
治療や、矯正を要する児童は冬休みを利用して治療、矯正を行うよう指導。

学校がお休みになつてもいつも規則正しい生活をして協議決定したことをよく実践し冬休みをよりのしく健康的に過すよう指導。

(一) 反省  
小供と教師と、父兄の合同反省会を開き意見を聞く。

(二) 評価  
健康生活の実践の徹底度について児童自身に反省評価をさせるとともに、各種記録を教師が検閲評価し、休み後の保健指導並に次年度計画の資料として活用する。

児童・生徒の身長・体重・胸囲・座高（昭和28年度）文部省調

(1) 身長

区分	男			女		
	市部平均	郡部平均	總括平均	市部平均	郡部平均	總括平均
小学校	6年	109.9	109.2	109.5	109.1	108.6
	7	115.3	114.5	114.8	114.5	114.0
	8	120.3	119.3	119.7	119.3	118.8
	9	124.8	123.8	124.2	124.1	123.5
	10	129.3	128.3	128.7	129.1	128.3
中学校	11	133.8	132.6	133.1	134.6	133.6
	12	138.6	137.3	137.9	140.4	139.4
	13	144.4	142.8	143.5	145.2	144.2
	14	151.0	149.3	149.9	149.0	148.0
	15	158.1	156.7	157.6	151.6	151.3
高等学校	16	161.3	160.2	160.9	152.6	152.3
	17	163.3	162.3	162.9	153.2	153.0
	18	162.9	162.1	162.6	152.9	152.7
	19	162.7	162.0	162.5	152.9	152.6
	總括	158.4	157.3	158.0	151.7	151.4
高等学	15	158.4	157.3	158.0	151.7	151.4
	16	161.7	160.7	161.3	152.7	152.5
	17	163.7	162.8	163.4	153.3	153.1
	18	163.7	163.1	163.5	153.2	153.1
	19	163.9	162.6	163.6	153.7	153.5
校	15	156.7	155.1	155.9	150.7	150.1
	16	159.3	158.3	159.0	151.7	151.1
	17	161.5	160.6	161.1	152.2	151.8
時	18	162.5	161.8	162.2	152.4	152.3
	19	162.5	161.9	162.3	152.7	152.4

注 1. 表頭取總括は市部、郡部の計を示す。2. 表側の高等学校における總括は通常課程、定時制課程の計を示す。3 注1.2. は体重、胸囲、座高についても同様である

## 学童の栄養補給には



消化吸収よ  
き完全乳化  
特殊皮膜で  
効力安定

(学校用) 一粒中のビタミン含量  
A 2.500 国際単位  
D 250 国際単位

河合研究所  
河合製薬株式会社

東京都中野区野方2丁目  
電話 (33) 4746  
東京都中野区野方2丁目  
電話 (33) 443 445



(2) 体 重

区 分	男			女		
	市部	郡部	総括	市部	郡部	総括
	平均	平均	平均	平均	平均	平均
小学校	6年	18.6	18.5	18.6	18.1	18.0
	7	20.6	20.6	20.6	20.2	20.1
	8	22.6	22.7	22.8	23.2	22.1
	9	24.9	24.8	24.8	24.4	24.2
	10	27.2	26.9	27.1	27.0	26.6
中学校	11	26.9	29.4	29.5	30.2	29.9
	12	32.7	32.4	32.5	34.5	33.9
	13	36.9	36.2	36.5	38.7	38.0
	14	42.0	41.3	41.6	42.7	42.3
高等学校	15	48.3	47.7	48.1	46.3	46.4
	16	51.8	51.4	51.6	48.3	48.4
	17	53.9	54.1	54.0	49.3	49.5
	18	54.5	55.2	54.7	49.5	50.9
	19	54.7	55.9	55.1	50.1	50.9
	15	48.4	47.9	48.2	46.3	46.5
	16	51.9	51.6	51.9	48.5	48.7
	17	54.1	54.3	54.2	49.3	50.0
	18	54.6	55.1	54.8	49.5	49.9
	19	55.0	55.1	55.1	50.5	49.9
校 定 時	15	47.9	47.1	47.2	45.9	46.0
	16	51.0	50.5	50.8	47.0	48.2
	17	53.0	53.3	53.1	49.2	49.9
	18	54.4	55.2	54.7	49.5	51.0
	19	54.7	56.1	55.1	50.0	51.1

# アメリカの高等学校における保健教科に見られる教科内容

文部省保健科学習指導要領改訂委員 青柳兵司

わが国の保健教科は、終戦後から今日に至るまでの僅かの期間に、幾多の変革を経て、いま新しい躍進を期して、跳躍台に立つている。そして教科内容については、翻新的な教科構造がうち出されようとしている。しかし、このような展開が、余りにも早く行われ、しかも教科としては浅い歴史を背景としているためにそれ相応の行き過ぎや粗雑さが見られないでもない。

これに対する反省と振り返りを行

うために、ここにアメリカのオハイオ州立高等学校の保健教科の教科内容を紹介しておく。

これは、現在のわれわれの立場から見ると決して新しいものではなく、わが国の保健教科の将来に何かを加え得るようなものではない。また、彼らの考えている高等学校保健教科の理論的な構造を、はつきりと打ち出したものでもない。しかし、身体的健全 Sound と安全 Safety の問題を中心にして、現実生活の必

(3) 胸 囲

区 分	男			女		
	市部	郡部	総括	市部	郡部	総括
	平均	平均	平均	平均	平均	平均
小学校	6年	56.0	56.3	56.2	54.5	54.8
	7	58.0	58.4	58.3	56.4	56.6
	8	60.0	60.4	60.2	58.2	58.5
	9	61.7	62.1	61.9	60.0	60.3
	10	63.5	64.0	63.8	62.0	62.3
中学校	11	65.4	65.8	65.7	64.7	64.8
	12	67.6	68.0	67.9	68.0	68.1
	13	70.0	70.7	70.6	71.4	71.7
	14	74.0	74.4	74.2	74.7	75.0
高等学校	15	78.2	78.3	78.2	77.3	77.6
	16	80.5	80.8	80.6	78.9	79.4
	17	82.2	82.8	82.4	79.9	80.5
	18	82.6	83.8	83.0	80.3	81.7
	19	82.9	84.3	83.2	80.5	82.5
	15	78.3	78.4	78.3	77.3	77.5
	16	80.7	80.9	80.7	78.9	79.3
	17	82.4	82.9	82.5	79.9	80.4
	18	83.0	83.5	83.2	80.1	80.8
	19	83.1	83.7	83.2	80.0	81.2
校 定 時	15	77.6	78.1	77.9	77.2	77.8
	16	79.6	80.6	80.1	78.8	79.9
	17	81.4	82.6	81.9	80.0	81.3
	18	82.3	83.9	83.0	80.6	82.2
	19	82.8	84.4	83.3	80.8	82.6

(4) 座 高

区 分	男			女		
	市部	郡部	総括	市部	郡部	総括
	平均	平均	平均	平均	平均	平均
小学校	6年	62.8	62.3	62.5	62.3	61.8
	7	65.2	64.9	65.0	64.9	64.4
	8	67.4	67.0	67.2	67.1	66.7
	9	69.6	69.0	69.2	69.2	68.9
	10	71.5	71.0	71.2	71.6	71.1
中学校	11	73.3	72.8	73.0	74.0	73.3
	12	75.5	74.8	75.1	77.1	76.1
	13	78.3	77.5	77.8	79.7	78.7
	14	81.5	80.7	81.0	81.7	81.1
高等学校	15	85.6	84.8	85.3	83.5	83.0
	16	87.5	86.9	87.3	84.1	83.8
	17	88.9	88.6	88.8	84.4	84.4
	18	88.6	88.3	88.5	84.1	84.0
	19	88.6	88.2	88.4	83.9	84.1
	15	85.8	85.1	85.6	83.6	83.3
	16	87.8	87.2	87.6	84.2	84.0
	17	89.2	89.0	89.1	84.4	84.5
	18	89.1	89.0	89.1	84.3	84.2
	19	89.2	88.7	89.1	84.3	84.3
校 定 時	15	84.6	83.8	84.2	83.0	82.2
	16	86.4	85.7	86.0	83.5	83.1
	17	87.7	87.1	87.4	83.7	83.6
	18	88.2	88.1	88.2	83.8	83.9
	19	88.5	88.1	88.3	83.8	84.1

## 児童と風邪

風邪は比較的軽い病気ですが、風邪は万病のもとともいわれ、二次感染症や髄膜炎(気管炎、中耳炎、扁桃腺炎、肺炎など)を起すことが多く軽視できないものです。

風邪は寒い季候や雨にあたつた時とか、汗をかいてそのままにしておいた時などにかかり易いものなのですが、誰れもがそうなのではなく特に風邪をひき易い児童がありますので注意することが大切です。即ち滲出性体質あるいは腺病質といわれる児童は特にかかり易く、また体の疲労している時とか栄養状態の悪い時、殊にビタミン欠乏症などの時にもかかり易いといわれています。

若し風邪にかつたら早く治すことが大切で、また風邪薬は副作用のないものを選ぶことがなによりです。風邪を早く治すシオノギのネオムルチン感冒錠は年々改良され、副作用がなく、よく効くと大変な評判で自信をもつてお奨めできます。

また、風邪にかからないようにすることも大切で、ビタミンAやCは病気に對する抵抗力と関係が深く、ビタミンD欠乏症の児童は風邪にかかりやすく、このように風邪とビタミンは関係の深いものですから、日頃からの等のビタミンを充分補給して風邪にかかるきつかけをつくらないようにする必要があります。

シオノギのポポン錠は児童に最も必要なビタミンA・C・Dの充分量の他のB<sub>1</sub>・B<sub>2</sub>・葉酸等10のビタミンを理想的に配合した、甘くてのみ易い黄色の糖衣錠で、特に児童用として最適の総合ビタミン剤です。(広告)



要性に応えた教科内容として、彼らがこれを如何に消化しているかを知るには、十分に役立つと思われる。なお、文献は本紙の保健ライブラリーに掲載した Landis, P. E. Bechtel, P. C. Garrison, R. M. などの諸氏が編集した Ohio High School Standards 1919: Health and Physical education, recreation and safety 以下の部分である。

オハイオ州高等学校 保健科教科内容

- 1 健康の評価
  - a 健康調査の目的
  - b 健康調査の内容
  - c 特別診断の狙いとその検査法
  - d 自己評価の利害得失
  - e 健康の価値
- 2 医学上の注意事項
  - a 医師の権能
  - b 医師を呼ぶべき場合
  - c 医師に対する協力
  - d 医学上の専門技術者にせよと迷信
  - e 専門医
  - f 傷害と自己の治療
  - g 薬剤の利用
  - h 集団保険
  - i 健全な学校生活
- 3 健全な学校生活
  - a 学校における適当な換気
  - b 学校における適当な照明
  - c 学校における適当な保温
  - d 水呑場の適当な使用
  - e ロッカーと便所の適当な管理
  - f 保健的な学校屋敷の選択法
  - g 体育学級にふさわしい服装
  - h 体育時の服装についての手入れ

- 4 家庭衛生
  - a 住居の保温と換気に必要なこと
  - b 住居の適当な照明
  - c 家庭の防疫
  - d 家庭の汚物処理
  - e 家庭の衛生施設
  - f 家庭における精神的、情緒的健康の増進—家庭の精神衛生
  - g 特別な感覚器と器官系統
  - h 視力の保護
  - i 耳の衛生
  - j 循環器の衛生
  - k 体力の消耗を避ける方法
  - l 消化器管—そのはたらきと衛生

- 5 特別な感覚器と器官系統
  - a 視力の保護
  - b 耳の衛生
  - c 循環器の衛生
  - d 体力の消耗を避ける方法
  - e 消化器管—そのはたらきと衛生
- 6 栄養
  - a 食物とその利用
  - b 個人の食物の需要は、何によつて決められるか
  - c 適当な食物の撰択
  - d 食欲をそそるには、食物をどのように調理すればよいか
  - e ビタミンと飲物質をとる必要
  - f 栄養失調症
  - g 正しい食物の貯蔵法
  - h 食物の衛生的な取り扱い
  - i 偏食
  - j 正しい食事を身につけるにはどうすればよいか
  - k 一般に見られる消化器の不整

- 7 身だしなみ
  - a 人をひきつけるような身だしなみの大切なこと
  - b 正しい衣服の選択
  - c 衣服の正しい手入れ
  - d 頭髪の正しい手入れ
  - e 皮ふの正しい手入れ
- 8 精神衛生
  - a 精神的、情緒的な健康の重要性
  - b 精神的な不健康状態の徴候と原因
  - c 望ましい個性と、それを発達させる方法
  - d 怒り、心配、恐れを避けること
  - e 娯楽と余暇の利用の重要性
  - f よき友を得る方法とこれを失なわない方法
  - g 情緒の不安定、優越感、劣等感
  - h 健全な精神をつくり上げるに必要な条件
  - i 基本的欲求
  - j 内分泌腺とそれが精神的、情緒的な健康に及ぼす影響
  - k 運動と休養
  - l 運動の重要性
  - m 運動の適性
  - n 良い姿勢をつくるに必要なこと
  - o 望ましいリクリエーションの能力
  - p 休養と睡眠の重要性
  - q よく眠るために必要な条件
  - r 事故、災害の防止
  - s 事故、災害の範囲と原因
  - t 歩行者に見られる救急を必要とする事故
  - u 自動車教育とその訓練
  - v 家庭に於ける事故防止
  - w 運動場や体育館における事故防止
  - x 自転車の安全

- 9 運動と休養
  - a 運動の重要性
  - b 運動の適性
  - c 良い姿勢をつくるに必要なこと
  - d 望ましいリクリエーションの能力
  - e 休養と睡眠の重要性
  - f よく眠るために必要な条件
  - g 事故、災害の防止
  - h 事故、災害の範囲と原因
  - i 歩行者に見られる救急を必要とする事故
  - j 自動車教育とその訓練
  - k 家庭に於ける事故防止
  - l 運動場や体育館における事故防止
  - m 自転車の安全
- 10 事故、災害の防止
  - a 事故、災害の範囲と原因
  - b 歩行者に見られる救急を必要とする事故
  - c 自動車教育とその訓練
  - d 家庭に於ける事故防止
  - e 運動場や体育館における事故防止
  - f 自転車の安全

- 11 救急法
  - a 傷、切断、打撲
  - b やけど
  - c 毒—中毒
  - d 骨折
  - e 肉腫れ、捻ざ
  - f 熱と寒冷による障害
  - g 人工呼吸法
  - h ショックと気絶
  - i 鼻血
  - j 負傷者の運搬
  - k ほう帯法
  - l 病気の原因と予防
  - m 病原体はどうして伝播するか
  - n 伝染病を予防する方法
  - o 種痘と免疫
  - p 呼吸器性疾患—かぜ、流行性感冒
  - q 結核症
  - r 性病
  - s 皮膚病
  - t 熱病
  - u 心臓病
  - v 小児まひ
  - w 糖尿病
  - x がん
  - y 家庭看護
  - z 病気の徴候をどうして知るか
  - aa 医者がかかるまでに、何を為すべきか
  - ab 簡単な看護法
  - ac 看護に関する家計
  - ad 病人に対する態度
- 12 病気の原因と予防
  - a 病原体はどうして伝播するか
  - b 伝染病を予防する方法
  - c 種痘と免疫
  - d 呼吸器性疾患—かぜ、流行性感冒
  - e 結核症
  - f 性病
  - g 皮膚病
  - h 熱病
  - i 心臓病
  - j 小児まひ
  - k 糖尿病
  - l がん
  - m 家庭看護
  - n 病気の徴候をどうして知るか
  - o 医者がかかるまでに、何を為すべきか
  - p 簡単な看護法
  - q 看護に関する家計
  - r 病人に対する態度

- 13 家庭看護
  - a 病気の徴候をどうして知るか
  - b 医者がかかるまでに、何を為すべきか
  - c 簡単な看護法
  - d 看護に関する家計
  - e 病人に対する態度
- 14 店頭事故の防止
  - a 渡り廊下、階段、教室における安全
  - b 工場における安全
  - c 農場における災害事故の防止
  - d 水の安全
  - e 火災防止
  - f 救急法
  - g 傷、切断、打撲
  - h やけど
  - i 毒—中毒
  - j 骨折
  - k 肉腫れ、捻ざ
  - l 熱と寒冷による障害
  - m 人工呼吸法
  - n ショックと気絶
  - o 鼻血
  - p 負傷者の運搬
  - q ほう帯法
  - r 病気の原因と予防
  - s 病原体はどうして伝播するか
  - t 伝染病を予防する方法
  - u 種痘と免疫
  - v 呼吸器性疾患—かぜ、流行性感冒
  - w 結核症
  - x 性病
  - y 皮膚病
  - z 熱病
  - aa 心臓病
  - ab 小児まひ
  - ac 糖尿病
  - ad がん
  - ae 家庭看護
  - af 病気の徴候をどうして知るか
  - ag 医者がかかるまでに、何を為すべきか
  - ah 簡単な看護法
  - ai 看護に関する家計
  - aj 病人に対する態度

大正製薬

目薬なら

やに目 たれ目 はやり目に

カークス

下痢・食あたり!

それ

タイモール

強力腸内殺菌剤タイモールは石炭酸の43倍の殺菌力があり、食中毒、急性胃腸カタル等に効果的。旅行に御家庭に備え下さい(20錠 150円)

東京日本橋 島居薬品株式会社



- 18 c b a 公衆衛生 地方健康局の仕事 国家並に聯邦健康局の仕事 私立健康機関の仕事
- 17 c b a 個人的な健康問題 アルコールと煙草の害 茶とコーヒーの影響 日光浴
- 16 c b a 生殖と遺伝 生殖器の解剖と生理 性衛生 遺伝と優生結婚
- 15 e d c b a 家庭生活の準備 完全な少女少女の交友 結婚の相手の選択 婚約期は何のために必要か 家庭生活の目的 理想的な結婚の基礎 家庭をなごやかにするための 順応 家庭設計の経済 両親としての責任 夫婦生活に入った者の社会に 態する態度 出産前、出産時、出産後の子 供に対する諸注意の重要性 母子の健康に対する保健的な 狙い 家庭相談所
- 14 i h g f 職業としての看護 職業としての看護 職業病と職場の事故 工場で塵埃などを防ぐ方法 疲労の防止 望ましい労働環境 良い家計と安全
- 13 g f 床についている病人の世話 病に対する適当な食餌とその つくり方 簡単な治療法 職業としての看護

保健ライブラリー 東京都立駒場高校 青柳兵司

終戦後、新たに生れた保健科には、いろいろな問題がある。とくに教科としての保健科は、問題解決学習と系統学習を望んで、その教科内容の体系化と整備の必要に迫られている。ここには、内外の文獻を逐次紹介して、参考と資したいと思う。(※印は単行本)

※(1)Crisp, K. B. 1938 : Health for you.

内容は、1. 健康と身だしなみ、2. 健康と良好な状態、3. 健康と品性、4. 健康と安全、の4部にわかれていて、年代は古いものであるが、教科書風に平易に説明されていて、歴史の古いアメリカの保健教育が、その教科内容を如何に消化しているかを知るには好適な文獻である。殊に、数多く挿入されてある附図や図表は、いずれもねらいが適確で、わが国の教科書に見られるようなマンネリズムに陥っていないのは流石である。

※(2)Oberteuffer, D. 1949 : School health education

本書は、保健教科のカリキュラム構成と、その指導展開についての、理論づけを行つている。とくに、第1部の「学校健康教育の基盤」は一読に価する。

※(3)Wilson, C. C. 1948 : Health education.

学校保健の全構造を理解するには、好適な文獻で、殊に保健教科の各教授要目について、その内容と狙い所を要領よくまとめてあり、健康教師の具体的指導書といった感じのものである。

(4) Paterson, R. G. 1950 : Foundation of community health education.

健康教育の足場を、個人の健康問題だけに限ることは、もう古い。新しい健康教育は、公衆衛生を踏み合にして、個人の健康問題を地域・社会の全構造のなかに持ち込んでいる。本書は、現住わが国でも問題となつている Community health education を歴史的に帰納して、健康ということについても新しい意味づけを行つている。

(5) State of Ohio department of education 1949 : Health, physical education, recreation and safety. Ohio High school standars.

(6) State department of education 1952 : Health education for Mississippi high schools.

これらの文獻は、アメリカ二州の高等学校で採択している体育科と健康科(保健科)の学習指導要領である。(以下次号)

- d 地域的な保健行事を拡張する必要
- e 各種の健康機関に協力することの重要性
- f 地域的な上水管理
- g 食物販売の衛生
- h 下水の処置
- i 健康問題としての住居
- ……本会だより……
- ・本会理事会開催
- 九月十五日午後四時より本会々議室で開催。
- 寄付行為変更に関する件、役員改選の件、第四回全大会提出議題の件その他を協議した。

- ・第一回東京都学校保健大会が九月二十五日東京上野高等学校で開催、学校保健関係者多数参加、研究発表、大に開催された。
- ・関東甲信越保健員研究集会準備会を十月二十二、三日群馬県水上町去來荘で開催、三十年度同集会の運営について協議した。
- ・学校薬剤師法制化祝賀会が名古屋市学校保健会長山内貞二氏等の発起で九月十八日名古屋市田庄本店で盛大に開催された。

特別講演等を行つた。

註釈 学校保健関係法令集 文部省保健課監修。本会編集で昭和三十年版が刊行された。B 6判四五〇頁。各学校はもとより学校保健関係者必讀書。定価二八〇円送料五〇円。

申込送金は本会または下記発行所へ 東京都中央区銀座西七の一 帝國地方行政学会 振替口座東京一〇〇〇〇〇番

☆新発売☆

駆虫率の高い

カイニン酸とサントニンの複合駆虫剤

ジゲサン

種類	成分	カイニン酸	サントニン
錠剤(1錠中)		5粒	25粒
末(1瓦中)		20粒	100粒

〔包装〕錠剤 100錠・末 10瓦

本剤は海人草の結晶有効成分「カイニン酸」と「サントニン」とを、最も駆虫率の高い割合に混合した複合剤で各単独投与に比べ、はるかに効果的な事が認められている。又海人草の臭味がなく、サントニン単独服用時にみられる黄視は殆んど起らない。

大阪市東区道修町 武田薬品工業株式会社 東京・札幌・福岡 (ジゲ6)

